

奈井江町

0326 中井優太郎

1. 奈井江町の概要と歴史

図1 奈井江町の町章

1.1 地名の由来

町名「奈井江」の語源は、アイヌ語の「ナエ」より転化したもので、砂多き川という意味である。

図1の奈井江町の町章は片仮名の「ナ」を図案化し、平和と躍進の姿を表現している。



出典 奈井江町公式HP

1.2 奈井江町の歴史

1871年、伊達邦直は、土地調査のため上陸し、ナエイとナエ川両川口に標杭を立て開拓の準備にとりかかった。1887年、上川仮道路（現在の国道12号線）開通、1890年には駅通が設置される。1891年滝川村の一部を分離、奈井江町の母村である奈江村が誕生する。鉄道の開通と奈江原野殖民区画の完成により、移住地の下検分など移民入植の気運が高まり、奈江村はいよいよ活況を呈する。

図2 カントリーサイン



出典 奈井江町公式HP

表1 奈井江町の年表

1870年	伊達邦直、ナエイ川とナエ川両川口に標杭を立てる。
1886年	上川仮道路（現国道12号）開通
1890年	奈江村（現砂川市）戸長役場設置。
1895年	奈井江独立戸長役場（現奈井江町）設置。奈井江炭田発見。
1903年	奈江村を砂川村と改める。
1923年	奈江村、町制施行「砂川町」
1938年	住友鉱業奈井江炭鉱 開坑
1944年	奈井江村（現奈井江町）、砂川町（現砂川市）より分立。
1950年	町制施行「奈井江町」
1952年	上砂川町の一部を編入
1968年	（昭和43年）5月 北海道電力奈井江発電所 1号機 運転開始
1970年	（昭和45年）2月 北海道電力奈井江発電所 2号機 運転開始
1971年	住友鉱業奈井江炭鉱 閉山
1972年	石狩炭鉱爆発事故。石狩炭鉱 閉山
1994年	奈井江町50周年。フィンランド・ハウスヤルビ町(fi:Hausjärvi)と友好都市提携

出典 ウィキペディア

1896 年奈井江村より奈井江独立戸長役場を設立、12 月には奈井江炭坑が発見され、試掘が始まった。この独立を契機に現在の奈井江町へと大きく胎動を始めることとなった。

1896 年奈井江村より奈井江独立戸長役場を設立、12 月には奈井江炭坑が発見され、試掘が始まった。この独立を契機に現在の奈井江町へと大きく胎動を始めることとなった。

1894 年本町ではじめて水稲が試作され、農業を中心とした開発が進められた。その後、住友奈井江砒が試掘を始めて以来、次々と石炭産業が進出し、着実な発展を遂げ、米と石炭を基幹産業として栄えてきた。しかし、エネルギー需給構造の変革により、1974 年までに 14 あった山全ての炭坑が閉山し、これを克服するため、企業誘致対策に積極的に取り組んだ結果、製造業を主とする企業の進出により、従来の農商鉦のまちから、農商工のまちへと変貌した。また、町民参加のもと「思いやり明日へ」をテーマに本格的高齢化時代に対応する保険・医療・福祉に力を入れ、「健康と福祉の町」を目指した町づくりを進めている。

2. 地理的概要

奈井江町は面積 88.05 平方キロメートルで道央空知の中心部、石狩平野のやや北部に位置し、東は夕張山系で芦別市と、西は石狩川で浦臼町・新十津川町と接し、南は美瑛市、北は砂川市と平坦で地味肥沃な農地で接している。

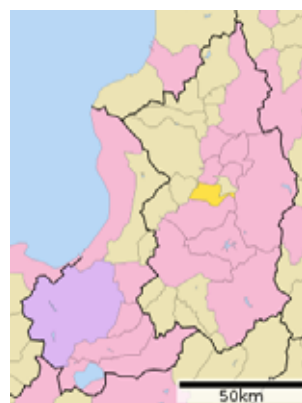
交通は、JR 函館本線と国道 12 号線が本町の中央を、東側山手には高速自動車道が南北に縦貫し、札幌市まで 68km、旭川市まで 68.8km の距離で結ばれており、生活環境、農工生活消費流通、企業立地などの面でも恵まれている。

図 3 奈井江町の位置 1



出典 奈井江町公式 HP

図 4 奈井江町の位置 2



出典 ウィキペディア

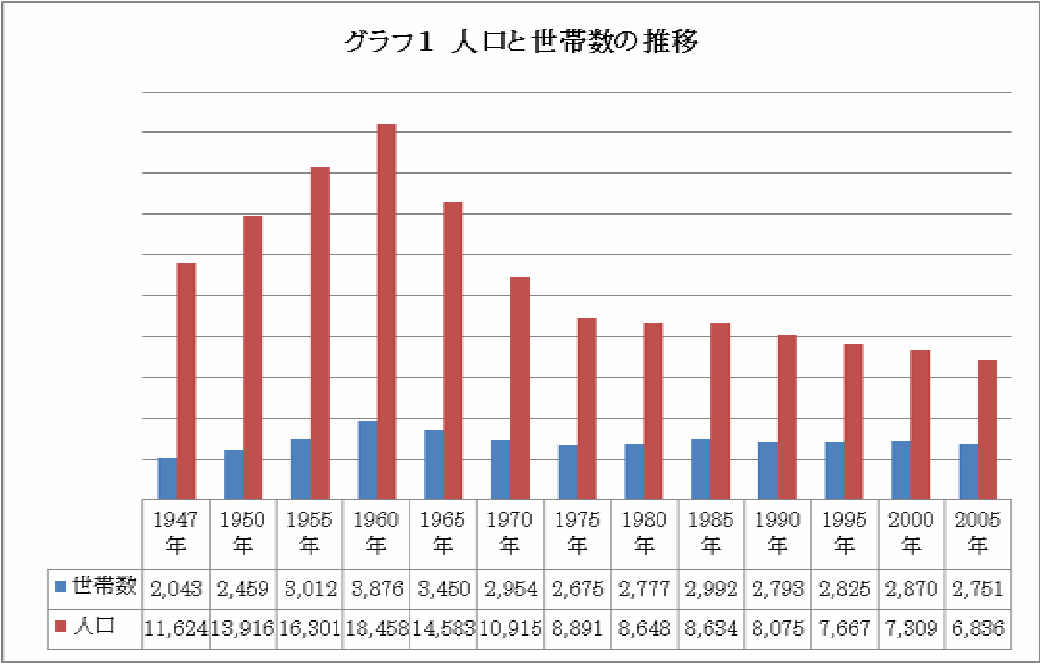
3. 奈井江町の気候

気候は、比較的内陸性で 2002 年(平成 14 年)の年間平均気温は 7.3 度で、最高 29.6 度、最低 -20.8 度となっている。降雪日数は 95 日となっている。初霜は 10 月下旬、根雪は 12 月上旬で、4 月上旬に融雪している。

4. 奈井江町の人口・世帯数

奈井江町の人口は 2006 年(平成 17 年)の時点で 6836 人、2751 世帯となっている。人口のピークは石炭産業のさかんだった 1961 年(昭和 35 年)の 18458 人、3876 世帯となっている。現在の人口はピーク時の 3 分の 1 となっている。世帯数がそれほど減少してないにも

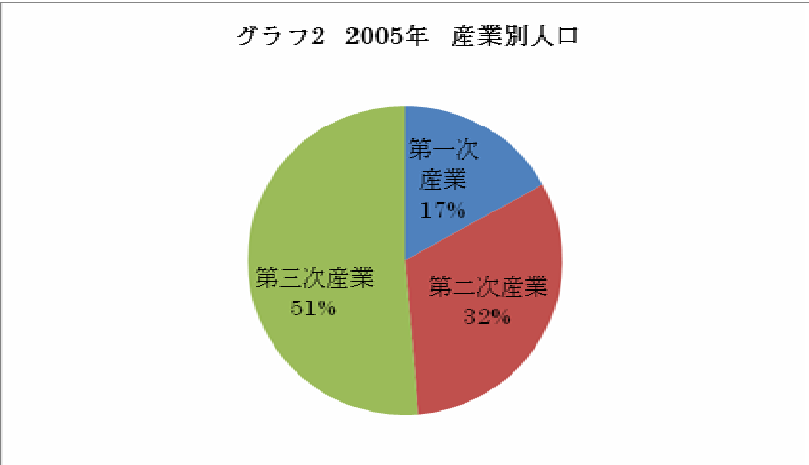
関わらず人口は3分の1になっていることを考えると核家族化が進んでいると考えられる。



出典 奈井江町公式 HP

5. 奈井江町の産業

1939 年、住友鉱業は大々的に採炭事業に着手し、奈井江は石炭のまちとしての活況を呈した。開拓以来、町の基幹産業として歩みつづけた農業は良質の米作りに加え、振興作物の安定生産を目指し、魅力ある農業、変化に強い農業に果敢に挑戦する。石炭産業の不振により、炭鉱の閉山が相次いで



出典 奈井江町公式 HP

いたが 1972 年（昭和 47 年）には奈井江町最後の炭鉱、石狩炭鉱が爆発、死者 31 名を出し閉山。奈井江のヤマの灯はすべて消えることになる。町の形態も大きく変貌する。また、空知団地の造成によりさらに工業のまちとして躍進が期待される。

分村から 50 年にあたる 1995 年を町では「福祉元年」とし、『おもいやり明日へ』をテーマとして保健・医療・福祉に重点をおき、健康と福祉のまちとして、この年から福祉の先進国・フィンランドハウスヤルビ町と友好都市を提携し相互派遣を行っている。

医療と福祉の先進地となるべく、町立病院の開放型共同型や老人総合福祉施設、高齢者生活福祉センター等を展開。また、介護保険の広域連合としては全国初の「空知中部広域連合」の中心となっており、豊かで文化的な暮らしやすいまちとして着実に発展している。

5.1 産業別人口

奈井江町全体の産業人口は 2006 年(平成 17 年)の時点で 3026 人である。第三次産業が 1551 人と全体の半数以上で一番多く次いで 960 人の第二次産業、一番少ないのが 510 人の第一次産業となっている(グラフ 2)。近年では石炭産業の廃退と共に第二次産業の減少が著しい。それに対し町の政策で企業誘致を積極的に行っているために第三次産業の人口の割合が年々増している。

表 2 奈井江町の産業別人口

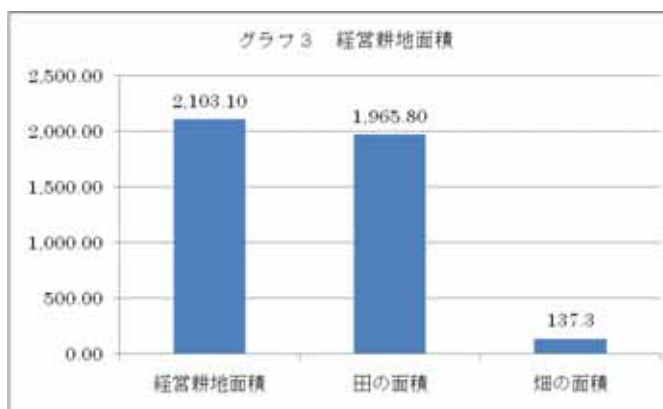
産 業 別	平成7年	平成12年	平成17年
総 数	3,911	3,522	3,026
第1次産業	651	534	510
農 業	624	506	486
林 業	27	28	24
漁 業	—	—	—
第2次産業	1,562	1,271	960
鉱 業	23	16	21
建 設 業	807	680	471
製 造 業	732	575	468
第3次産業	1,697	1,717	1,551
電気・ガス・熱供給・水道業	37	49	15
運輸・通信業	187	161	130
卸売・小売・飲食店	489	460	351
金融・保険業	32	41	28
不 動 産 業	4	5	4
サ ー ビ ス 業	804	870	899
公 務	144	131	124
分 類 不 能	1	0	5

出典 奈井江町公式 HP

6 農業

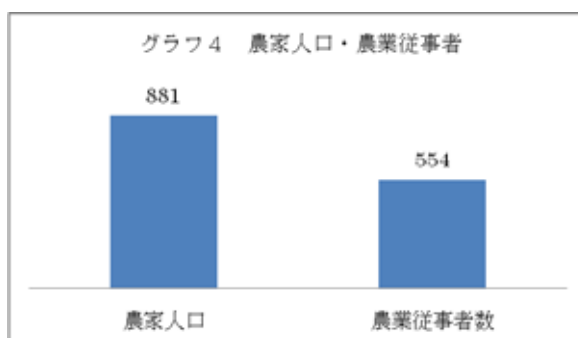
奈井江町は主に大正年間に平野部の水田化が進み、空知穀倉地帯の一環となる。町の基幹作物の米は「きらら 397」や「ほしのゆめ」を中心に作付けしている。生産者は平成 8 年度に導入した気象観測ロボット「マメダス」を使い、日平均気温データを利用した水管理・刈取適期・いもち病発生予測の情報を得て、よりおいしい米作りを目指し日々努力して

いる。「消費者の健康と環境を守るため・米の主産地として消費者のニーズに合った米作りを行うため」という考えから、奈井江町減農薬米栽培研究会は農薬の使用回数を通常の半分以下に抑えた「きらら 397」、「ほしのゆめ」を栽培している。現在ではメロン、トマトジュースなども産品となっている。

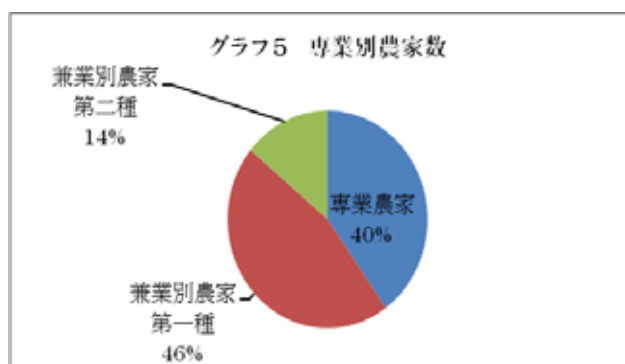


出典 奈井江町公式 HP

奈井江町の農業の特徴は田が多いことである。グラフ 3 から読み取れる通り経営面積のほとんどが田である。これは農業が米に依存していることがうかがえる。また農家の半数以上が兼業農家であり現在の農業界の厳しさがうかがえる(グラフ 4,5 参照)。

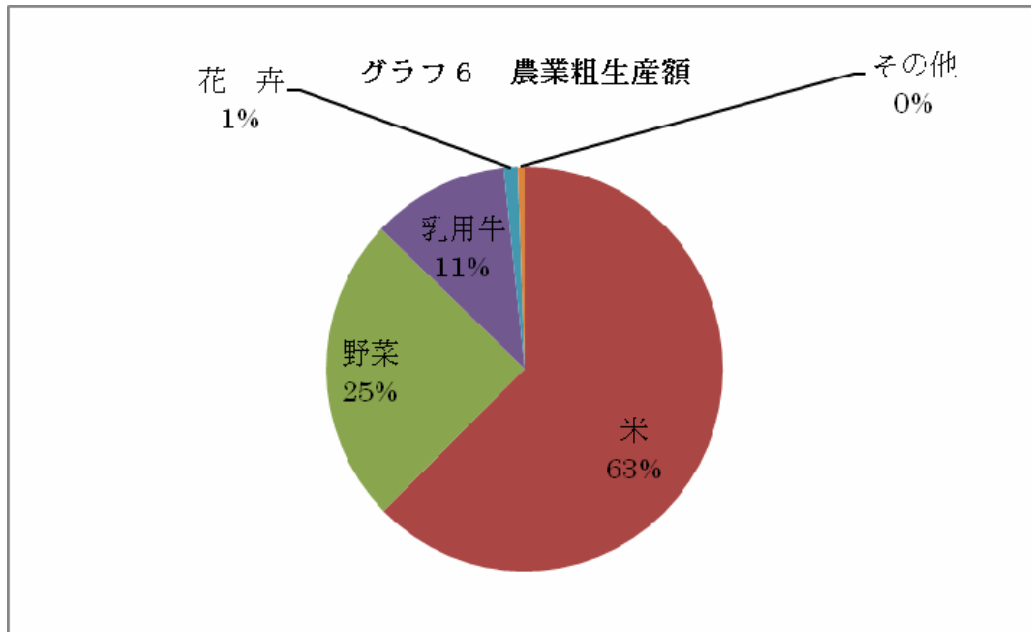


出典 奈井江町公式 HP



出典 奈井江町公式 HP

奈井江町の農業粗生産額の総額は 17 億 7000 万円でありその内米が 11 億 2000 万円で奈井江町の農家は米に支えられていることがグラフ 6 からわかる。また野菜の生産額も 4 億 4000 万円と全体の四分の一ほどある。



出典 わがマチ・わがムラ

特産品

・北海キングメロン

奈井江産「北海キングメロン」は昼夜の寒暖差が大きい自然条件の下で作られるので、糖度が高く、みずみずしさと贅沢な甘さでギフトとしても大人気である。

図5 北海キングメロン



出典 奈井江町公式 HP

・ユリ根

3年ものあいだ地中でじっくりと栄養を蓄えてから収穫されるのでタンパク質が豊富で栄養満点な根野菜である。奈井江産は、特に肌が白く張り、リン片は厚くしまりの良いのが自慢である。ほくほくした食感で上品な旨味がある。

図6 ユリ根

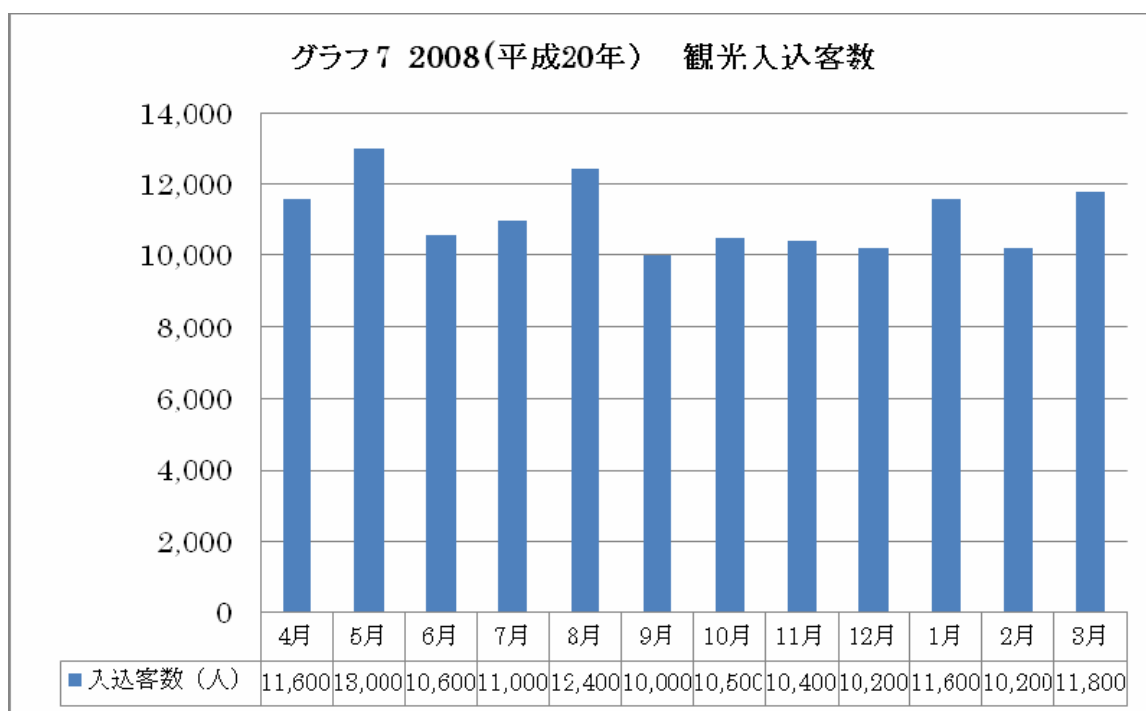


出典 奈井江町公式 HP

7.観光

7.1 観光入込客数

奈井江町の観光入り込み客数は年間を通してほぼ一定である。GWがある5月、観光シーズンの8月、正月の1月の月がやや増加している。奈井江町は宿泊施設が少なく観光客が他の市町村に比べ少ないと言える。



出典：北海道庁 HP

7.2 ハウスヤルビ・奈井江

奈井江町の名所として最初に挙げられるのは日本一長い国道をドライブしていて中間点にある道の駅のハウスヤルビ・奈井江である。駅の名称は、友好都市提携をしているハウスヤルビ町（フィンランド共和国）からとったもの。木の香りに包まれた館内には、挽きたてのコーヒーと手作りアイスが格別の喫茶「みみずく」がある。さらにソフトクリーム店（季節限定）では、地元産の米（ななつぼし）を使ったソフトクリームは絶品。ほかにもラーメン店があるほか、奈井江町の農産物や特産品を販売している。

図7 ハウスヤルビ・奈井江



出典 奈井江町公式 HP

7.3 奈井江温泉・北乃湯

旭川と札幌の中間にあり道央自動車道の奈井江砂川 IC からすぐの位置にある。雰囲気もいい露天風呂や休憩室とレストラン、多目的ホールと会議室などを備えるほか、土間式屋内体育センターが有るのが魅力。通称「美人の湯」と言われる温泉は加水なしの源泉 100% で加温している。皮膚病や冷え性に効果があるという。

図 8 奈井江温泉・北乃湯



出典 奈井江町公式 HP

図 9 にわ山森林自然公園



出典 奈井江町公式 HP

7.4 にわ山森林自然公園

今では桜の名所となっている第2、第3展望台の付近は1965年(昭和40年頃)までは石炭の露天掘りが行われていた。その跡に石炭層が露出している所があり石炭の広場として整備されている。とはいっても広場の端が露頭炭の崖になっているだけなのだが一見の価値はある。お花見に行かれた時はおすすめ。

図 10 不老の滝



出典 奈井江町公式 HP

7.5 不老の滝

高さ45メートル、幅10メートルの雄大な瀑布が、森林の静けさを破るように2条にわかれ流れ落ちている。水の流れだけではなく岩や木々など、自然そのものの姿をたっぷりと堪能できる。奈井江川の清流と両岸に群生するつつじなど、四季折々の自然美が堪能できる。

図 11 直線道路日本一の碑



出典 奈井江町公式 HP

7.6 直線道路日本一中間点

奈井江町は日本一の直線道路国道12号線のちょうど中間地点に当たる。国道12号の歴史は、前身となる市来知(現 三笠市) - 忠別太(現 旭川市)間の87.9kmの上川道路が1886年(明治19年)5月に着工したのにはじまる。工事には、月形町の樺戸集治監の囚人が駆り出され、わずか90日後の8月に幅約2メートルの道路が仮開通した。この工事の復

命書に「可成（なるべく）直線路に為すを主とし」とあったことから、美瑛市 - 滝川市間の日本一長い直線道路が誕生した。翌年から、樺戸、空知集治監の囚人らによって改修が行われ、1889 年ごろに完成した。工期の短さから囚人の労働は過酷なものであったことがわかるが、動員数や犠牲者数は記録に残っていない。1969 年、砂川市に囚人の犠牲者を慰霊する「上川道路開鑿記念碑」が建立された。

参照ホームページ

・奈井江町公式 HP：

<http://www.town.naie.hokkaido.jp/mati/gai/mati-koutuu/koutuu.htm>

・ウィキペディア：<http://www.town.naie.hokkaido.jp/mati/gai/mati-koutuu/koutuu.htm>

・北海道庁 HP：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

・空知総合振興局：<http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/index.htm>

・農林水産省：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/index.html>

・奈井江温泉・北乃湯：<http://www.msknet.ne.jp/~naieonsen/>

・わがマチ・わがムラ：<http://www.machimura.maff.go.jp/machi/>